



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社グラフィコ 上場取引所 東
 コード番号 4930 URL <https://www.graphico.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 長谷川 純代
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 甲 正彦 (TEL) 03-5759-5077
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の業績 (2020年7月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	3,085	23.1	267	△1.4	227	△13.8	147	△15.6
2020年6月期第3四半期	2,506	—	271	—	264	—	174	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年6月期第3四半期	166.92		156.38					
2020年6月期第3四半期	217.84		—					

(注) 1. 2019年6月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2021年6月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2020年9月24日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、新規上場日から当四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	2,414	1,897	78.6
2020年6月期	1,681	1,289	76.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 1,897百万円 2020年6月期 1,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の業績予想 (2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,150	18.6	320	36.2	280	26.1	181	22.3	204.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年6月期3Q	924,000株	2020年6月期	800,000株
------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2021年6月期3Q	43株	2020年6月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年6月期3Q	881,296株	2020年6月期3Q	800,000株
------------	----------	------------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2020年7月1日～2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響による経済活動の停滞からは一部で持ち直しの動きが見られていましたが、再び緊急事態宣言が発令されるなど、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

当社が属する健康食品、化粧品、日用雑貨及び医薬品業界におきましては、業界再編の動きや業態間の販売競争が激化しており、人手不足による物流コスト上昇を解消するための生産性向上への取り組み、デジタル化進展への対応など業界を取り巻く環境は大きく変化しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、訪日外国人によるインバウンド需要の消失、外出自粛やテレワーク拡大などによる化粧品、健康食品需要が減少する一方、巣ごもり需要や衛生意識の高まりによる、日用品、衛生関連商品の需要が好調に推移しております。

このような状況の下、当社は「モノ創りで、笑顔を繋ぐ。」を経営ビジョンとして、変容する働き方やライフスタイルの中で頑張る方々を応援し、笑顔で幸せな生活を楽しんでいただくための商品を創出するメーカーとして、常にお客様の立場に立って、興味・共感を得られる実感値の高いモノ創りに挑戦し続けてまいります。少子高齢化、女性の社会進出、働き方やライフスタイルの変化への対応に加え、コロナ禍における新しい生活様式に関連した消費行動の変容、デジタル化の加速などめまぐるしく変化する事業環境に柔軟・迅速に対応し、強みである企画・開発力、プロモーション力を活かし、多様化する消費者ニーズを捉えた高付加価値で競争力の高い商品の開発に取り組んでおります。また、ESGやSDGsへの取り組みも重視しており、途上国の産業支援を行うフィール・ピースプロジェクトや女性活躍を支える商品開発などを推進し、事業を通じて社会課題の解決に貢献し、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

当第3四半期累計期間の販売面では、主要卸売先との緊密な連携関係に努め、一層の取り組み強化や流通チャンネル戦略による販売力向上や営業の効率化を推進しており、さらなる生産性向上の実現と強固な収益基盤の構築に注力しております。また、販売戦略に基づいた販促施策、店頭販促活動、SNSやWEB、テレビ等の広域プロモーションを中心とした宣伝・PR活動による認知度向上への取り組みを進めてまいりました。当第3四半期においては、主力ブランドの新商品投入や既存商品のリニューアルを行っており、販売は好調に推移しております。利益面では、一部商品の価格改定により収益性に一定の改善効果があったものの、リニューアルにより一時的に原価率が上昇しており、前年同期比で3.0ポイント上昇しております。販売費及び一般管理費につきましては、売上増に伴う物流費増加、販促施策や人員増強等の先行投資、上場に伴う費用発生により前年同期比で増加はしておりますが、売上高の増加に伴い販管費率は0.9ポイント低下しております。

また、当社では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止や従業員及び関係者の皆様の安全確保を最優先に事業活動への影響も最小限に抑えるため、在宅勤務や時差出勤の実施、デジタルツールの活用、検温やアルコール消毒、マスク着用の徹底、デスクパーティションの設置、抗体検査の実施などの必要な対策を徹底しております。在宅勤務をはじめとした柔軟な働き方の導入は、今後も環境変化に対応するために継続し、働きやすい労働環境の整備を図るとともに、労働時間の適正化や生産性向上のための取り組みを積極的に推進しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,085,872千円(前年同期比23.1%増)、営業利益は267,594千円(前年同期比1.4%減)、経常利益は227,568千円(前年同期比13.8%減)、四半期純利益は147,110千円(前年同期比15.6%減)となりました。

当社は健康食品、化粧品、日用雑貨、医薬品の企画及び販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報に代えて商品カテゴリー毎の取り組み状況について記載しております。カテゴリーは、健康食品を中心とする「ヘルスケア」、化粧品を中心とする「ビューティケア」、日用雑貨の「ハウスホールド」、医療用医薬品と一般用医薬品の「医薬品」、「その他」で構成されております。

(ヘルスケア)

ヘルスケアに区分される商品におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴うインバウンド需要減少の影響はあるものの、主力ブランド「なかつたコトに！」から栄養機能食品としてリニューアルした「なかつたコトに！VM」「なかつたコトに！R40 VM」や新商品の機能性表示食品「食事で気になる糖や脂肪!」「なんとかしたいお腹の脂肪!」を2021年2月に発売し、販売は好調に推移しております。また、イメージキャラクターにファーストサマーウイカさんを採用するなど、認知度向上のための活動にも積極的に取り組みました。その結果、ヘルスケア商品の売上高は、447,506千円（前年同期比6.4%増）となりました。

(ビューティケア)

ビューティケアに区分される商品におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うインバウンド需要や外出機会の減少等を背景に化粧品需要が落ち込んでおります。フットケアブランド「フットメジ」では医薬部外品「フットメジ薬用フットソープF1 フレッシュハーブ」を2021年2月に発売し、販売は堅調に推移しておりますが、ビューティケア全体としては低調な動きとなりました。また、2020年9月よりフィール・ピースプロジェクトの商品としてスキンケアブランド「エナシヤス」の販売をオンラインストアで開始しております。その結果、ビューティケア商品の売上高は、367,243千円（前年同期比19.5%減）となりました。

(ハウスホールド)

ハウスホールドに区分される商品におきましては、コロナ禍における外出自粛やテレワークの定着による巣ごもり消費等の拡大を背景に日用品の需要が高まっております。酸素系漂白剤「オキシクリーン」では洗浄成分(界面活性剤)をプラスした「オキシクリーンEX 500g」を2021年2月に発売し、売上に寄与しております。また、イメージキャラクターにメイプル超合金のカズレーザーさん、安藤なつさんを起用した新CM「オキシ足し漬け親子」篇や新商品PRイベントを開催するなど認知度向上のためのプロモーション活動を展開しております。さらに導入店舗や導入アイテム拡大の取り組みを強化したこともあり、「オキシクリーン」ブランドは引き続き好調に推移しております。その結果、ハウスホールド商品の売上高は2,124,526千円（前年同期比43.9%増）となりました。

(医薬品)

医薬品に区分される商品におきましては、新型コロナウイルス感染症により急増した除菌・衛生関連製品の需要は一巡したものの、「ビタミンC2000」シリーズや医療用医薬品の「酸化マグネシウム錠」を中心に売上は堅調に推移しております。一方で、一部製品のリニューアル等に伴う返品もあり、医薬品の売上高は98,889千円（前年同期比13.0%減）となりました。

(その他)

その他売上につきましては、主として植物石鹼等のPB（プライベートブランド）商品が引き続き好調に推移しており、売上高は47,707千円（前年同期比20.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ732,766千円増加し、2,414,653千円となりました。主な増減要因は、次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ717,639千円増加し、2,279,814千円となりました。これは主に、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)への上場に伴う公募増資及び第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)等により現金及び預金が295,701千円、受取手形及び売掛金が70,711千円、商品及び製品が378,014千円増加した一方で、原材料及び貯蔵品が44,831千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ15,127千円増加し、134,838千円となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が13,950千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ125,467千円増加し、512,351千円となりました。これは主に、買掛金が59,715千円、未払法人税等が56,206千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ40千円増加の5,071千円となり、大きな増減はありません。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ607,258千円増加し、1,897,230千円となりました。これは主に、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)への上場に伴う公募増資による新株式発行により資本金と資本剰余金がそれぞれ150,512千円増加、第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ79,018千円増加、四半期純利益の計上により利益剰余金が147,110千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.6%(前事業年度末76.7%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年2月12日に公表しました「2021年6月期第2四半期業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	398,694	694,396
受取手形及び売掛金	446,792	517,503
商品及び製品	456,889	834,903
原材料及び貯蔵品	201,347	156,516
その他	59,302	77,470
貸倒引当金	△850	△975
流動資産合計	1,562,175	2,279,814
固定資産		
有形固定資産	13,494	15,965
無形固定資産	18,172	17,116
投資その他の資産	88,044	101,756
固定資産合計	119,711	134,838
資産合計	1,681,886	2,414,653
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,163	183,878
未払法人税等	20,115	76,321
賞与引当金	—	10,230
返品調整引当金	35,244	43,714
その他	207,360	198,206
流動負債合計	386,884	512,351
固定負債		
資産除去債務	5,030	5,071
固定負債合計	5,030	5,071
負債合計	391,914	517,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	240,188
資本剰余金	—	230,188
利益剰余金	1,279,971	1,427,082
自己株式	—	△229
株主資本合計	1,289,971	1,897,230
純資産合計	1,289,971	1,897,230
負債純資産合計	1,681,886	2,414,653

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	2,506,335	3,085,872
売上原価	1,250,220	1,610,809
売上総利益	1,256,115	1,475,063
返品調整引当金戻入額	41,054	35,244
返品調整引当金繰入額	29,955	43,714
差引売上総利益	1,267,214	1,466,593
販売費及び一般管理費	995,831	1,198,998
営業利益	271,382	267,594
営業外収益		
受取利息	8	6
為替差益	1,116	2,775
その他	7,888	1,407
営業外収益合計	9,012	4,189
営業外費用		
売上割引	16,157	22,134
上場関連費用	—	13,422
その他	163	8,658
営業外費用合計	16,320	44,216
経常利益	264,074	227,568
税引前四半期純利益	264,074	227,568
法人税、住民税及び事業税	73,742	94,408
法人税等調整額	16,062	△13,950
法人税等合計	89,805	80,458
四半期純利益	174,269	147,110

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月24日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場いたしました。上場にあたり、2020年9月23日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行80,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ150,512千円増加しております。さらに、2020年10月16日に有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ79,018千円増加しております。

また、ストック・オプションとしての新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ658千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が240,188千円、資本準備金が230,188千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、健康食品・化粧品・日用雑貨・医薬品の企画及び販売を主たる事業とする単一セグメントであるため記載を省略しております。